

豚熱(CSF)に引き続きご注意を！

2026年3月に静岡県富士宮市の農場にて102例目、4月10日に宮崎県都城市の農場にて103例目の豚熱が発生しました。ワクチン接種地域であるため、制限区域は設定していませんが、野生イノシシがCSFウイルスを伝播している可能性があります。

長野県ではR7年度908頭の検査を実施し、11頭陽性でした(陽性率1.2%)。管内では松本・木曽地域で感染が確認されています。イノシシの感染拡大を防ぐため、経口ワクチンをR7年度は県全体で1200地点、24000個散布していますが、免疫を持ったイノシシは約33%にとどまっている状況です。

豚熱(CSF)、アフリカ豚熱(ASF)対策は持ち込まない！

病原体侵入防止に必要な設備

ハード

1. 野生動物侵入防止対策
農場周囲の除草や木の伐採、壁の設置
畜舎や堆肥舎における防鳥ネットの設置
2. 人・車両等の出入り対策
入退場車両の消毒設備
衛生管理区域又は畜舎専用の衣服及び靴、手指消毒設備
3. 豚舎外での病原体防除対策
沢水やため池を用いる場合は、消毒できる設備を整備する など



日々の作業における注意事項

ソフト

1. 車両からの伝播防止
衛生管理区域の出入口では、外来者にも徹底！
2. 人による持込防止
衛生管理区域内外と畜舎内外で2重に境界を設定
手指の洗浄・消毒 など
3. 畜舎周囲・農場外縁部の石灰散布
4. 飼養管理作業の注意点
こぼれ餌の清掃、搬出口を開放する時間をできるだけ短縮する など



令和8年度

松本家畜保健衛生所の新たな体制がスタート！



いまいちど
ご確認を！



所長 青木一郎

韓国では1月に口蹄疫の発生が確認され、国内への侵入の可能性が高くなっています。また昨年10月台湾でASFが初めて発生しました。飼養衛生管理基準の遵守を通じ、家畜伝染病防疫対策の維持・強化をお願いします。

保健衛生課 課長:神戸

慢性疾病対策等を通じて、生産性向上を支援します。

防疫課 課長:多田

各種検査や病性鑑定などを通じて、家畜伝染病の発生予防と、衛生管理の向上を支援します。

病性鑑定課 課長:袴田

病性鑑定の精密検査を通じて、疾病の診断、対応等、最新知識を用いて疾病対策を支援します。

伝染病等の異常通報は松本家畜保健衛生所 TEL:0263-47-3223 へ